

生涯学習センター きらめきの後期講座が10月からスタートします。今回も充実した楽しい講座内容になっています。

創作講座「クラシックギター」も新たにスタートします。そこで、担当の先生に講座内容にかかわる話を聞きました。

## クラシックギター

「クラシックギター」を担当されているのは北口功先生です。今回は、ギターの歴史や楽しみ方などについて聞きました。

### ギターの歴史を教えてください。

ギターはルネサンス時代（15～16世紀）に登場し、バロック時代（17世紀頃）になって盛んに弾かれるようになりました。弦は10本、5コース（2本1組）の複弦でしたが、18世紀の終わり頃には、単弦の6弦ギターが作られるようになりました。この頃はギターやバイオリンのような弦楽器のほうが、鍵盤楽器より盛んでしたが、19世紀中頃からはだいたいピアノが盛んになってきました。ギターに比べて、ピアノの方が音量が大きかったためだと思われます。

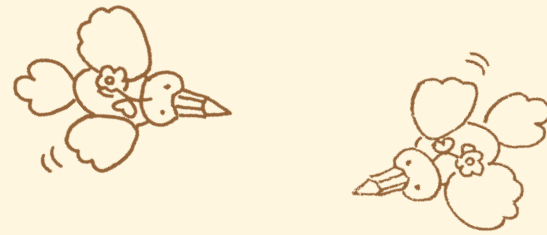
日本にギターが入ってきたのはこの頃です。日本では、1970年代がギターの全盛期で、クラシックやフォークを奏する若者をあちこちで見ることができました。また、ヨーロッパなどに留学して音楽学校で勉強したり、国際コンクールに出場して入賞する若者も出てきました。

### クラシックギターの演奏形態を教えてください。

基本的にはソロで弾きますが、二重奏や三重奏、ほかの楽器や歌との組み合わせもあります。ギターの音は押しつけがましくないのが特徴で、演奏者の心を語るような音を奏できます。しかし、ほかの楽器と合わせるとまた違った趣があります。

### 成果を上げる練習方法はありますか。

これは私の考えですが、曲を声に出して歌うということが大切だと思います。楽器を持つ前に、曲を自分で歌ってみて、どういう旋律になっているのかを確認するのがいいです。こうして音楽が流れる感覚をつかみ、曲を自分でイメージします。そのイメージが自分の中で安定してくると、ギターを弾くときにずっと自分の中に音が入りスムーズに弾けるようになります。また時々、自分よりじょうずな人の演奏を生で聴くのも



大切なことです。

### クラシックギターの楽しみ方を教えてください。

身近な人に自分の演奏を聴いてもらい、自分がギターを習っていることを知ってもらいましょう。人に聴いてもらうと上達もするし、そこでコミュニケーションが生まれます。上達してきたら、ほかの楽器や歌と合わせて演奏してみるのも楽しいですよ。

### 講座を通して受講生に伝えたいことはありますか。

多くの方は忙しい毎日を過ごしておられることですが、ギターの講座を受けている時間は、ギターを存分に楽しんでいただきたいですね。日常の中にこうした文化活動を取り入れることはバランス的にも良いことです。自分の心と向き合う時間を作りましょう。

「クラシックギター」は、前期の講座のまとめとして、10月8日(土)に生涯学習センター きらめきホールで発表会を行います。ぜひ生で聴くギターをお楽しみください。

秋の夜長を読書で楽しみませんか。茨木市の図書館には、図書や雑誌、CD、ビデオなどが数多く置かれています。

茨木市の図書館所蔵の図書や雑誌がインターネットから予約できるようになって4カ月が経ち、たくさんの市民が利用をしています。

そこで『まなびどり』編集ボランティアは中央図書館を訪ねて、改めてその利用方法や注意点などを聞きました。

## インターネットでの予約

予約できるのは、利用カードとパスワードをお持ちの市内在住・在勤・在学している小学生以上です（小学生は保護者の同意が必要）。パスワードは申請すると図書館から数字が渡され、それを自分で決めた数字に変えて使います。中央図書館、分館に置いてある検索端末機や自宅のパソコンから予約できます。

予約できる資料は、茨木市立図書館所蔵の貸出可能な図書、雑誌に限り、8冊まで予約できます。ビデオやCDなどの視聴覚資料はインターネットでは予約できません。

予約図書が用意されたときは、Eメールか電話で知らせてくれます。連絡を不要とした場合は「予約状況」の画面で確認することになります（予約時に連絡方法を選択）。

なお、茨木市内の図書館にない図書については、図書館に置いてある予約カードに記入してカウンターに提出すると、購入したり市外の公共図書館から借り受けたりしてもらえます。



相談カウンター

## パスワード申請

パスワード申請に必要なものは、利用カードと本人確認ができる証明書です。パスワードとして図書館から渡された4桁の数字は仮のもので、そのままでは使用できません。自分で決めた6桁の数字に変更してください。それが正式のパスワードになります。

パスワードの申請は、中央図書館、各分館、各分室で受け付けています。中央図書館、各分館の検索端末機やインターネットで、正式のパスワードに変更できます。



館内検索端末機

多くの人は貸出期日を守って、指定された日までに返却しますが、中には期日を過ぎても返却しない人がいるそうです。一人でも多くの人が利用できるように、期日までには返却したいものです。

インターネットを利用すると、自分が借りている資料の状況をチェックすることができ、返却忘れを防止できます。

読みたい資料が見つからない場合や疑問などがあつたとき、あきらめて帰ってしまう前に窓口や近くにいる職員に聞いてみましょう。必要な資料が見つかったり、疑問が解決したりするかもしれませんよ。

担当：小山 宮崎